

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会  
衛星・科学業務委員会(第47回)  
議事概要(案)**

1 日時

令和8年2月2日(月) 15時～【Web会議】

2 議事

- (1) 衛星・科学業務委員会(第46回)議事概要(案)について
- (2) ITU-R SG7関連会合(2025年9月)の報告書(案)について
- (3) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)への日本寄与文書(案)について
- (4) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の外国等寄与文書の審議表(案)について
- (5) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の対処方針(案)について
- (6) その他

3 配付資料

資料 衛・科-47-1 衛星・科学業務委員会(第46回)議事概要(案)

資料 衛・科-47-2 ITU-R SG7関連会合(2025年9月)報告書(案)

資料 衛・科-47-3 ITU-R SG7関連会合(2026年3月)日本寄与文書(案)

資料 衛・科-47-4 ITU-R SG7関連会合(2026年3月)外国等寄与文書審議表(案)

資料 衛・科-47-5 ITU-R SG7関連会合(2026年3月)対処方針(案)

参考資料1 ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の開催案内

参考資料2 ITU部会決定第7号

参考資料3 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

参考資料4 WRC-27議題一覧

※ 下線がある配付資料は不開示情報を含むものがあるため、出席者限りの取扱。

4 出席者(敬称略、順不同)

主 査:加藤 寧

構成員:中川 勝広、藍澤 志津、新 博行、伊東 宏之、今村 浩一郎、岡崎 彰浩、中間 弘、佐藤 祐子、菅 瑞紀、高久 義行、平松 正顕、廣瀬 幸、山條 朋子

## 5 議事概要

### (1) 衛星・科学業務委員会(第46回)議事概要(案)について

資料 衛・科-47-1に基づき、衛星・科学業務委員会(第46回)議事概要(案)の確認を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

### (2) ITU-R SG7関連会合(2025年9月)の報告書(案)について

資料 衛・科-47-2に基づき、ITU-R SG7関連会合(2025年9月)の報告書(案)について事務局から紹介した。

### (3) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)への日本寄与文書(案)について

資料 衛・科-47-3に基づき、ITU-R SG7関連会合(2026年3月)への日本寄与文書(案)の検討を行った。次の議論の後、構成員から承認を得た。

#### 寄書本文(7B/J-1)

NTTドコモ 新構成員	2つ目の提案で、WP7BがWP4CのCPMテキスト案を最終化する前に事前にチェックしたいと読める。一般論として、ITU-Rでは責任グループが責任をもってCPMテキスト案を作るという作業方法の中で、この問いをするとITU-R全体の作業方法として好ましくない前例になるのではないか。英文をソフトな表現にするべき。また、WP4Cでの作業文書の進捗具合を勘案するとWP7Bがレビューをできない可能性もあり、WP4C会合に参加して対応するべきではないか。
JAXA 橋本氏	ご指摘を踏まえ、書きぶりの変更を検討する。JAXAとして、WP4C会合へは参加予定である。
NTTドコモ 新構成員	表現については工夫をお願いしたい。

#### 寄書本文(7B/J-2)

NTTドコモ 新構成員	セクションA4.1.3.3の最初の文で“includes”という動詞を使用しているが、文章の意図を考えるともう少しわかりやすい英語表現にした方が良い。
JAXA 廣谷氏	改善を検討する。

#### 寄書本文(7C/J-2)

NTTドコモ 新構成員	CPMテキスト案英文の中で“option”という用語を使用しているが、ITU-Rの決議2では「“option”という用語は“optional”という意味
----------------	--

	に捉えられる可能性があるため、“alternative”という言葉に使うように」という記載がある。言い換えた方が良いのではないか。
ARIB 横山氏	提案の意図は、Option 1、2の2つの選択肢から選んでもらい、その結果を最終的なCPMテキスト案として出力するというものである。最終的にCPMテキスト案に残したいわけではない。
NTTドコモ 新構成員	本提案に、Option 1、2から選択すべきという意味の記述はあるか。万が一最後まで選択肢が残りそうであれば”alternative”に変更すると良いだろう。また、日本として、Option 1、2のどちらが望ましいかまで意見表明があれば、議論の活発化に寄与すると考える。
ARIB 横山氏	“To facilitate further consideration”という表現で、選択をしてもらうよう意図している。本CPMテキスト案の提案の中で”alternative”とすると選択肢を残そうとしていると誤解されかねないため、文書は原案のまま、現地で対応するようにしたい。

#### 寄書本文(7C/J-5)

NTTドコモ 新構成員	議題1.17のITU-R検討を行う寄与グループにWP7Cでの検討の進捗を伝えるという提案であるが、寄与グループに何かしてほしいという意図があるのか。それとも単に情報として進捗を伝えるものなのか。
ARIB 横山氏	特に何かを求める意図はない。単純に情報提供である。
NTTドコモ 新構成員	承知した。議題1.17の検討は順調に進んでいると理解した。

#### (4) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の外国等寄与文書の審議表(案)について

資料 衛・科-47-4に基づき、ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の外国等寄与文書の審議表(案)の検討を行った。特段の意見はなく、構成員から承認を得た。

#### (5) ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の対処方針(案)について

資料 衛・科-47-5に基づき、ITU-R SG7関連会合(2026年3月)の対処方針(案)の検討を行った。特段の意見はなく、構成員から承認を得た。

#### (6) その他

事務局から、外国等寄与文書の審議表については、別途メールで検討する旨を報告した。

以上